

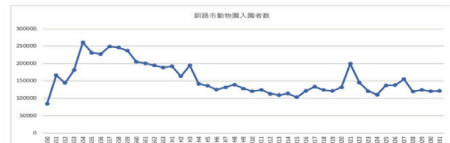
## 基本構想

キムンカムイ（ヒグマ）、サルルンカムイ（タンチョウ）、コタンコロカムイ（シマフクロウ）などの北海道に生息する動物たちとアイヌ文化との深い関係性を伝えるための環境を整えます。

### 1章 釧路市動物園の現況

#### ■入園者数の推移

アムールトラのタイガとココアが誕生した翌年の平成21年度に約20万人と入園者数が大きく増える年がありました。その他の年は12~13万人程度の入園者数の推移にあります。



### 2章 動物園とアイヌ文化との関わり

#### ■これまでの動物園におけるアイヌ文化紹介の取り組み



アイヌ語表記を入れた植物看板

木道敷設路での自然観察会

### 3章 基本方針

園内の豊かな自然環境を活かし、来園者にとって、アイヌ民族の自然や動物との関係性、文化に対する理解が深まる様な環境を整えます。

#### ■ゾーニング

正門からヒグマ舎にかけて、「自然環境の質的トーン」を変化させていくとともに、アイヌ文化における生活（ケ）から崇拜（ハレ）といった「文化的トーン」も変化させていきます。北海道ゾーン全体としての統一感を生み出しつつ、各ゾーンでは変化のある動物、文化の暮らしぶりを展示していきます。



#### 【歓迎のエリア】

##### ・自然の中で育まれた知恵や技術で迎える

アイヌ文化の中で育まれた北海道を代表する草本、樹木の配植や、自然由来の色彩、色調を活用した空間で迎えます。

##### 【池・湿地・河畔林エリア】

##### ・引立て合う展示

ミズナラ林、湿地、池それぞれの自然環境にあった多様な植生を育成すると共に、水と植物、植物と動物が互いに引き立て合う展示空間としていきます。

##### ・野生を取り込む生息展示

飼育動物も本来生息する自然環境の中で展示することで、身近な動物の息遣いや、普段感じることのできない距離感で動物に対する怖さを体験できます。

#### 【暮らしのエリア】

##### ・文化的な営みを連想させる展示

道具と植物や道具と動物の造形物をセットで配置することで、アイヌの文化的な営みを感じられるようにしていきます。

##### 【カムイの森エリア】

##### ・カムイとしての尊厳をつくる

大径木の樹木を積極的に残しつつ、重みのある森を育成していきます。

##### ・人と動物の距離感を動物が選ぶ

カムイとしての尊厳を大切に、動物ごとの習性、性格をふまえ、動物の暮らしやすい施設整備を行い、動物が人と距離感を選べる施設にしています。

##### ・本物の自然環境の中に生息する動物展示

ヒグマ舎は、獣舎・放飼場と周辺の森を取り込む様に施設整備していきます。施設整備だけでなく、周辺環境を含む一体的な空間づくりをしています。

## 基本計画

### 1章 現況

#### ■課題



### 2章 具体的な展示手法

#### ■動植物とアイヌ文化の関わり方を伝える展示手法

アイヌ文化と関わりが深い動植物を使った道具や言い伝えなどを解説パネルなどと一緒に展示することで興味関心が持てるような展示を行います。



#### ■飼育動物の展示方針

##### 【動物福祉】

動物福祉の観点を取り入れた施設整備を行い、彼らの日々のいきいきとした暮らしぶりを展示していきます。

##### 【カムイとしての尊厳】

カムイとしての尊厳を体感できるように、カムイを見上げる視線高とし、動物は来園者よりも優位の位置に配置していきます。

### 3章 基本計画

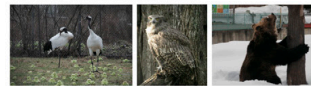
#### ■環境整備方針

##### 【正門周辺及び中央広場】

来園者がアイヌ文化に親しみを抱くような設えに空間を演出します。

##### 【北海道ゾーン】

アイヌ文化と関わりが深い北海道に生息する動物を飼育展示します。特に、アイヌ民族の自然との共生と動物との関係性を象徴するヒグマの展示について、魅力的な情報発信を強化するとともに、キムンカムイが住む場にふさわしい環境を整備します。



サルルンカムイ コタンコロカムイ キムンカムイ

#### ■ソフト事業の方針

##### 【積極的に自然資源を活用したプログラム】

動物園の植物を活用し、アイヌの生活を体験できるプログラムなどを行っていきます。

##### 【中央広場を利用したイベント、プログラム】

アイヌ文化をお披露目するイベントやアイヌ文化を学ぶ教育プログラムや親子で参加できるワークショップを提供します。

##### 【デジタルツールによる情報発信】

SNSなどのデジタルツールを積極的に活用し、アイヌ文化が持つ自然観を魅力的に伝えていきます。

##### 【ヒグマ舎を活用したイベント、プログラム】

山のカムイであるヒグマを頂点とした動植物たちの命の繋がりを学ぶ多様なプログラムを用意し、来園者にアイヌ文化と動物や自然環境への「興味」から「関心」へ繋がります。



アイヌの踊り

ヒグマのガイド

#### ■各ゾーンの基本計画

##### 【正門周辺】

##### ・釧路に生息する動物で迎える

アイヌ文化と関わりのある動物をモチーフとして、自然素材を利用した造形物を市民のみなさんと共に製作し、展示していきます。

##### ・アイヌ文化独特の色彩・色調

カムイとされる動物やアイヌ文様を活用し、自然と調和した色調を取り入れることで、より雰囲気を感じ出し、アイヌの世界へと誘うことによってワクワク感を高めます。

##### 【中央広場】

##### ・多様な活動や交流が生まれる広場

アイヌの伝統文化の紹介等、多様な文化活動を行える建築物とセットの広場を設けます。

##### ・屋内、屋外の展示

展示室を設け、アイヌ文化の道具などを展示していく、屋外には、道具とアイヌの有用植物をセットで展示していきます。

##### 【ヒグマ舎】

##### ・ヒグマが選ぶ暮らしの環境

多様な環境を提供することができるように、起伏や池などの環境をつくりだします。

##### ・興行きを感じる築山

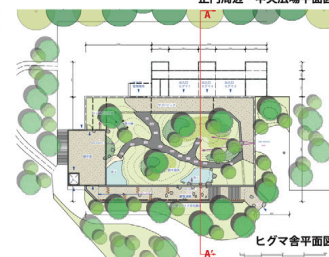
周辺の樹林を借景として活用し、ヒグマの生息環境である樹林を表現します。

##### ・観覧通路と展示室

観覧通路はヒグマと同じ目線で自然環境に溶け込んだヒグマを見られるようにします。奥に行くにしたがって、少し照度が下がる幻想的な雰囲気の中で、観覧通路と新設される展示室ではアイヌ民族とヒグマのつながりを表した展示解説などを行います。



正門周辺・中央広場平面図



ヒグマ舎平面図



ヒグマ舎 A-A 断面図